
令和2年 北海道建築士会 まちづくり委員会小会議（第1回）議事録

開催日時：令和2年1月18日（土） 14：00～16：30

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6階）

出席者：＜担当常務＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜委員長＞ 清水 浩史（札幌）

＜副委員長＞山田 直登（空知）、松本 純（札幌）

＜事務局＞ 岡本 友美

＜協議事項＞

1. 令和元年事業報告、令和2年事業計画・予算について（清水）

（1）令和元年事業報告・決算

○別紙にて説明

（2）令和2年事業計画・予算

○別紙にて説明（委員会の日程、各事業の日程確認）

・委員会等の日程

1月18日（土） 小会議（事業計画について）

2月29日（土） 第1回委員会（事業計画、フォーラム・全道大会の企画検討）13時より

5月30日（土） WEB会議－1（フォーラムの企画確定、全道大会の企画検討）

8月22日（土） WEB会議－2（全道大会の確認、景観まちづくり塾の企画検討）

10月24日（土） 第2回委員会（次年度事業計画及び予算について）

・事業の日程

2月29日（土） 北海道建築士会まちづくり会議 15時より

6月未定（土） まちづくりフォーラム in 白老

9月5日（土） 全道大会網走大会B分科会

10月24日（土） 景観まちづくり塾

＜意見等＞

・WEB会議－2は、全道大会と日程が近すぎるため、当初計画よりも1週間前倒しし、8月22日（土）の開催とする。

・第2回委員会・景観まちづくり塾は、2020ほっかいどう住宅フェアの日程との関係で、1週間後送りし、10月24日（土）の開催とする。

2. 北海道建築士会まちづくり会議について

年に1回、各まちづくり部会員及び活動関係者（本部の各委員等）が一堂に集まり、活動報告やシンポジウムを行うなど、情報を共有する場となることを目的に開催する。

○担当 ◎清水、松本、永井、鈴木、山田

○日時 令和2年2月29日（土）15：00～18：30

○会場 大通公園ビル（通称ヤクルトビル 札幌市中央区大通西6丁目）

○参加 全道各支部（部会関係委員会委員、一般会員など） 45名

○内容 別紙のとおり

※事業委員会、被災建築物応急危険度判定特別委員会は、13時から同会場で委員会を行い、まちづくり会議にも出席予定。

<意見>

- ・基本線はOK。
- ・グループ討議は、具体的な場所をお題として出す。そして、ターゲットはグループで設定する。建築士の役割については、議論が発展しない可能性があるため、木本さんの講演を踏まえて、各グループで考慮する程度とする。
- ・グループ討議の全体進行を木本さんをお願いし、その手法も学んでほしい。
→木本さんも進行を考えてくれている。その方向で依頼する。
- ・グループは6名程度とし、参加人数によりグループ数を設定する。まちづくり委員が1名ずつグループの進行役として張り付く。
- ・会場は、会議スタートから広い方の部屋を使い、グループに分かれて着席してもらう。
- ・木本さんへの謝金は、士会規定上は9,000円/時間以内。予算案の8,000円/時間でOK。講演、グループ討議進行、発表へのコメントを含め、3時間で計上する。

3. まちづくりフォーラムについて（清水）

○担当 ◎松本、末吉、山田、清水

○日時 令和2年6月未定（土） ※町と要調整

○場所 白老町内

○参加 全道各支部、学生、市民 50名

○内容 地域のまちづくり活動にふれ、そのまちのことや、地域が抱える問題などを知ること、今後のまちづくり活動へのヒントを見つけ出せる「場」となることを目的に開催するものである。今年に民族共生象徴空間「ウポポイ」の完成に伴い、変貌を遂げつつある白老町のまちづくりについて学ぶ。

○スケジュール

- ・白老町と調整（日程、会場、講師等の打診）（1/下）（清水）
- ・企画検討（2/下）（松本、清水）
- ・詳細検討（3/下）（末吉、松本）
- ・CPD申請（4/20）（岡本）
- ・フライヤー（4/中）（末吉）
- ・開催案内（4/上）（末吉、松本）
- ・講師依頼（4/上）（末吉、松本）
- ・座席レイアウト（6/上）、出席者名簿（6/上）（末吉、松本）
- ・当日用アンケートの作成（6/上）（末吉）
- ・懇親会企画（6/上）（末吉）
- ・新聞社等への案内（岡本）

<意見>

- ・白老町が対応可能か、白老町役場の市原さんに確認する。(清水)
- ・対応不可の場合、余市町、東川町、伊達市、当麻町を代替候補とする。

4. 全道大会網走大会B分科会について(清水)

○担当 ◎鈴木、佐藤、山崎、山田、清水

○日時 令和2年9月5日(土)

○内容(網走支部からの提案内容)

「博物館網走監獄を起点としたまちづくり」～地域を支える歴史的建造物の活用～

博物館網走監獄は網走刑務所関連の貴重な建築物を26棟もの建物を移築、復元し重要文化財4棟、登録文化財3棟を展示しています。

それは単なる建物の展示ではなく日本行刑施設の近代化を示歴史的建造物群の宝庫であり北海道開拓の歴史や網走市街地の発展に大きな影響を与えた歴史の展示であり日本行刑施設の近代化を示歴史的建造物群の宝庫であります。

毎年多くの観光客が訪れ地域の資源、観光資源としても価値が非常に高く交流人口の拡大につながっています。

歴史的建築物の展示が地域発展を支えていく一つの例として、建築士としての目線で体験し建築士としてそれぞれの地域においてやるべきことを考える分科会として提案いたします。

現地に会議室があります。バス移動、現地で分科会(見学、ディスカッション等)、バスで戻ってくるスケジュール可能。

パネラー候補:博物館網走監獄学芸員、網走市職員、網走中央商店街会長、網走ちゃんぼん研究会会長など

<意見>

- ・ヘリテージ委員会とのコラボを検討してはどうか。→川原委員長に確認する。
- ・網走監獄を見学して、話を聞くのは良い。まちづくりとの関連については支部ともう少し詰めて、企画を煮詰めていきたい。2月29日委員会には大枠は決める予定であるので、それまでにMLで企画案を議論する。

5. 高校生デザインコンクールについて(清水)

○担当 ◎松本

○日時 運営委員会5月・1月、選定委員会9月

○概要 道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する生徒の皆さんから、道の整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会の共催によって開催される。

まちづくり委員会としては、5月・1月の運営委員会、9月の選定委員会へ委員を派遣する。

<意見等>

- ・ これまでは委員長が運営委員、選定委員となっていたが、清水委員長は事務局側でもあるため、松本副委員長を委員として派遣する。

6. 高校生「建築甲子園」について（清水）

○担当 ◎清水

○日時 応募締切 10 月末

○内容 将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校及び高等学校の生徒を対象に、研究創作活動に対するコンペ「建築甲子園」を実施する(締切 10 月末)。研究創作活動の例として、実習活動、建築の設計、インテリア、家具の設計製作、都市その計画とアイデア等がある。主催は日本建築士会連合会・都道府県建築士会、後援は全国工業高等学校長協議会・国土交通省である。表彰時に高校へ訪問するなど、道士会として積極的に関わる。

7. 景観整備機構について（清水）

○担当 ◎清水、永井

○背景 景観法に基づき、良好な景観の形成に関する業務を行うことのできる団体。

北海道建築士会は、北海道（平成 27 年 3 月 26 日）、札幌（平成 30 年 3 月 30 日）より、景観整備機構の指定を受けている。なお、北海道建築士会では、景観整備機構として、景観法第 93 条のうち下記の業を行うこととしている。

- (1) 第 1 号 良好な景観の形成に関する事業を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談その他の援助を行うこと。
- (2) 第 6 号 良好な景観の形成に関する調査研究を行うこと。
- (3) 第 7 号 前各号に掲げるもののほか、良好な景観の形成を促進するために必要な業務を行うこと。

○内容 ① 北海道景観整備機構、札幌市景観整備機構の運営

② 他景観行政団体への指定申請 未定

③ 景観まちづくり塾の開催

○担当 ◎永井、酒井、清水

○日時 10 月 17 日（土） ※10 月の委員会と同日予定

○場所（案） 室蘭市旧絵鞆小学校円形校舎など

<意見等>

- ・ 景観整備機構に関しては、永井さんが市側の担当でもあるため、清水委員長が担当する。永井さんには景観まちづくり塾をメインで担当していただく。
- ・ 景観まちづくり塾は、市民がクラウドファンディングで、2 週間で 1 千万円を集め、解体が決まっていた建築物の存続に向かい行政を動かしたところに着目する。1 月中に存続するかどうか結論が出るはずなので、推移を見ながら企画を詰めていく。
- ・ ヘリテージ委員会とコラボし、参加人数によってはバス 2 台とすることができないかなど検

討する。 →川原委員長と協議する。(清水)

8. 連合会まちづくり委員会について (清水)

(1) 連合会まちづくり委員会 (清水) 年3回開催予定

(2) 全国まちづくり委員長会議及びまちづくり会議

- ・開催日 令和2年1月31日(金)・2月1日(土)
- ・開催場所 笹川記念会館 (東京都港区三田 3-12-12)
- ・参集規模 都道府県まちづくり委員長、まちづくり部会員等 100名
- ・テーマ 「いままでとこれからのまちづくりを探る」
- ・内容 別紙のとおり
- ・参加予定者 針ヶ谷常務理事 (1日のみ)、清水委員長

(3) 全国大会セッション

- ・開催日 令和2年11月14日(土)
- ・開催場所 広島市

9. その他 (清水)

(1) 「健康省エネ住宅を推進する国民会議」シンポジウムについて

- ・時期、内容等詳細は不明であるが、江別市でシンポジウムが開かれる予定とのこと。
- ・1月14日に開催された会長、副会長、常務理事、実行委員長の合同会議において、高野会長からまちづくり委員会が担当するよう意見があったところ。

<意見等>

- ・内容を見る限り、まちづくり委員会が担当すべきか確認が必要。
→石川事務局長と調整する。

(2) 「2020ほっかいどう住宅フェア」について

- ・開催日 令和2年10月17日(土)、18日(日)
- ・開催場所 札幌コンベンションセンター
- ・内容 今年の住生活月間中央イベントが北海道で行われ、共催で「2020ほっかいどう住宅フェア」が開催される。関係16団体で構成される実行委員会に北海道建築士会も入っている。
イベントは、過去の他県の例を参考とすると、お仕事体験や展示など。

<意見等>

- ・上記と同様、まちづくり委員会が担当すべきか確認が必要。
- ・過去のイベント内容としては、ノウハウを持っているのは青年委員会など。
- ・建築士会全体として関わるものと思われるので、まちづくり委員会が担当すべきか確認が必要。 →石川事務局長と調整する。

(3) 連合会会誌「建築士」北から南からへの原稿執筆依頼について

- ・5月号への寄稿依頼があり、2年前の「まちづくりフォーラム in 釧路」をきっかけとした、その後の動き等について、清水委員長が執筆する。